

農業C

〔例題1〕 令和3年（2021年）5月、農林水産省は持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、以下の取組を推進している。

- ・ 資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進
- ・ イノベーション等による持続的生産体制の構築
- ・ ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立
- ・ 環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進
- ・ 食料システムを支える持続可能な農山漁村の創造
- ・ サプライチェーン全体を貫く基盤技術の確立と連携
- ・ カーボンニュートラルに向けた森林・木材のフル活用によるCO₂吸収と固定の最大化

このうち、「イノベーション等による持続的生産体制の構築」のための具体的な取組の中から、農業分野における「高い生産性と両立する持続的生産体系への転換」に向けた取組を記述しなさい。

なお、記述にあたっては、以下の①～④の項目ごとに、それぞれ2つ以上取組を書きなさい。

- ① スマート農業の推進
- ② 化学農薬の低減
- ③ 化学肥料の低減
- ④ 畜産における環境負荷の低減

農業C

〔例題2〕 ジャガイモは、我が国の生産量の約8割を北海道で生産しているが、毎年のようにジャガイモが原因とされる食中毒事故が発生している。このジャガイモによる食中毒事故発生の原因となる物質、その物質の構造、ジャガイモの部位のうちその物質が多く含まれる部位、健康に影響を与える可能性がある摂取量、その物質を要因とするジャガイモによる食中毒を予防する方法についてそれぞれ説明しなさい。